

公益社団法人 日本地下水学会  
2024 年度 定時代議員総会 議事録

1. 開催日時：2023 年 5 月 11 日(土) 15：00～16：40
2. 開催場所：中央区京橋プラザ区民館および Web 会議
3. 代議員総数：22 人
4. 出席代議員数および氏名、出席形態

出席 19 人 欠席 3 人

○：現地出席、㊦：Web 出席、－：欠席

代議員 (22 名)							
愛知 正温	㊦	浦越 拓野	㊦	岡 大輔	㊦	柏谷 公希	㊦
神谷 浩二	㊦	黒沼 寛	○	齋藤 光代	○	品川 俊介	－
杉本 映湖	㊦	高本 尚彦	㊦	田部 一憲	㊦	千葉 知世	－
土原 健雄	㊦	西山 賢一	㊦	野原 慎太郎	㊦	坂東 和郎	○
日比 義彦	○	藤井 光	○	増岡 健太郎	－	宮越 昭暢	㊦
安元 純	㊦	山田 優子	㊦				

委任状（議長へ委任）受領者

3 名：品川 俊介、千葉 知世、増岡 健太郎

5. 出席役員（理事、監事）数および氏名、出席形態

理事 出席 13 人

○：現地出席、㊦：Web 出席、－：欠席

公益社団法人 日本地下水学会 理事 (15 名)							
伊藤 浩子	○	蛭原 雅之	○	遠藤 崇浩	㊦	久保田 富次郎	○
阪田 義隆	○	杉田 文	○	瀬尾 昭治	○	高木 一成	○
竹内 真司	○	辻村 真貴	－	中島 誠	○	宮越 昭暢	㊦
山中 勝	○	吉田 広人	○				

監事 出席 2 人

○：現地出席、㊦：Web 出席、－：欠席

公益社団法人 日本地下水学会 監事 (2 名)							
高坂 信章	○	五藤 幸晴	○				

6. 総会の成立

議長は、上記のとおり定足数に足る代議員の出席があったので開会を宣し、下記の通り議事に入った。

7. 議長：日比 義彦 代議員

8. 議事録作成者：今村 聡 事務局長

#### 9. 代議員総会資料

2022年度 定時代議員総会 議事次第

資料-1「2023年度 事業報告書」

資料-2「慶弔見舞金規程（2023/12/9 改定）」

資料-3「特定費用準備金取扱規定（2024/2/17 改定）」

資料-4「個人情報取扱規程（2024/4/20 改定）」

資料-5「表彰規程（2024/4/20 改定）」

資料-6「2023年度 決算報告書」

資料-7「2023年度 監査報告書」

資料-8「名誉会員について」

資料-9「2024年度 事業計画書」

資料-10「2024年度 収支予算書」

参考資料1「定款」

参考資料2「施行細則」

参考資料3「表彰規程」

#### 10. 議事の経過の要領およびその結果

定刻になり、今村聡事務局長より議長が決るまでの間進行をつとめる旨の発言があり、続いてWeb会議における質疑応答の仕方、採決の方法についての説明があった。

開会が宣言され、杉田 文会長の挨拶に続いて議長の選任について代議員に諮ったところ、満場一致をもって代議員日比義彦氏が議長に選任された。

日比義彦代議員は議長席に着き、議事録作成者として今村聡事務局長を指名した。次に事務局より6. のとおり総代議員の議決権数の過半数に相当する代議員の出席もしくは委任状があるので本会は適法に成立している、との報告を受け、直ちに議事に入った。

##### 【報告事項その1】

<理事会体制の変更について>

- ・議長の指名による事業報告の説明に先立ち、蛭原雅之総務委員長から、南部理事（会計委員長）が辞任されたこと、それに伴い、瀬尾副会長が会計委員長を兼務となったこと、竹内副会長が表彰委員長を兼務となったこと等体制変更に関する説明があった。したがって、本日の会計に関する説明も瀬尾副会長から説明するとの報告があった。

<2023年度 事業報告>

- ・議長の指名により、蛭原雅之総務委員長から資料-1に基づき2023年度事業報告があった。説明の後、総務、行事、編集、企画、渉外、会計、市民コミュニケーション、広報・IT、調査・研究、若手支援・男女共同参画の各委員長から2023年度の活動に対する追加説明があった。特に質疑はなかった。

<規定の制定、改定について>

- ・議長の指名により、蛭原雅之総務委員長から資料-2, 3, 4, 5に基づき規程の制定、改定について報告があった。特に質疑はなかった。

## 【審議事項その1】

第1号議案：2023年度（公益法人第14期）決算承認の件

- ・議長の指名により、瀬尾昭治会計委員長から資料-6に基づき2023年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録などに関する報告があった。引き続き、五藤幸春監事から資料-7に基づき、事業報告及び計算書類等のいずれも適切な執行、処理がなされていることを確認したとの監査報告が行われた。
- ・その後、Web会議出席者についてはオンライン投票により、現地参加者については挙手にて賛否をはかったところ、賛成が過半数に達していることを議長が確認し、承認された。

第2号議案：名誉会員承認の件

- ・議長の指名により、竹内真司表彰委員長から資料-8に基づき表彰委員会及び理事会での審議を経て、平山光信氏1名を名誉会員に推薦するとの説明があった。
- ・その後、Web会議出席者についてはオンライン投票により、現地参加者については挙手にて賛否をはかったところ、賛成が過半数に達していることを議長が確認し、名誉会員推薦が承認された。

## 【報告事項その2】

<2024年度 事業計画>

- ・議長の指名により、蛭原雅之総務委員長から資料-9に基づき2024年度の事業計画について説明があった。

<2024年度 予算>

- ・議長の指名により、瀬尾昭治会計委員長から資料-10に基づき2024年度の収支予算について説明があった。

事業計画、予算ともに特に質疑はなかった。

## 【自由討議】

- ・議長から、全体を通してのご質問、ご意見をお受けする旨のアナウンスがあり、下記のような質疑が行われた。
- ・坂東代議員：昨年度の理事会運営に対する謝意が表された。また、坂東代議員が秋季講演会の実行委員長を務めるにあたって、理事会および事務局から適切な支援を受けていることに対しても謝意が表された。
- ・高本代議員：現在、学会誌は紙媒体で頒布されているし、今回の代議員総会資料も紙媒体で配布されているが、電子媒体によるものにしてもらいたい、との要望があった。  
山中理事より、学会誌に対して、電子媒体への転換に対するご希望があるのは承知しているが、① 紙媒体による頒布を希望されている会員もおられるし、前理事会からの紙媒体による頒布希望もある、② 一部を電子媒体にしても、印刷費の節減にはつながらない、との回答があった。

高本代議員からは、お金の問題だけではなく、保管場所の確保の観点からも電子媒体への転換をお願いしたいとの要望があった。

蛭原理事から、今回は総会資料を紙媒体で配布したが、次回からは希望に応じて電子データだけの配信にすることを検討している、とのコメントがあった。

瀬尾副会長からも現理事会ではすべて電子データの配信のみに転換しており、総会資料も、決算資料のように画面では見づらいものを除いては、電子データに転換していくとの補足説明もあった。

- ・愛知代議員：若手研究助成の取り組みは、良い取り組みだと思っているが、今年度の応募者が2名というのは寂しい気がする。応募数の増大への取り組みを行っているのかとの質問があった。

伊藤理事より、今年度は2名であったが、昨年度は4名の応募者があった。今年は少なかったと考えている。できるだけ多くの方に応募してもらいたいと思うが、あまり応募者が増えると、原資が50万円と限られていて、お一人あたりの助成金額が減ることにもなるので、積極的な増加策はとっていないとの回答があった。

- ・斎藤代議員：愛知代議員の質問に関連して、応募されている方は博士課程の学生が多いと思うが、社会人の方にも応募してもらおうような方策はないのでしょうか？との質問があった。

伊藤理事より、博士課程に限らず、修士課程や学部生からの応募もある。社会人からの応募はないが、営利目的の研究に対する助成は趣旨に反するし、少額助成なので、社会人からのニーズがあるかどうか疑問だと思っている、との回答があった。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は16時40分に閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し議長及び議事録作成者が次に記名押印する。

2024年5月15日

公益社団法人日本地下水学会 代議員総会